

## 心理学分野におけるオープンアクセスの進展 『筑波大学心理学研究』掲載論文の引用調査から

著者	大原 司, 佐藤 翔, 逸村 裕
著者別名	Itsumura Hiroshi
内容記述	第13回情報メディア学会研究大会 2014年6月28日 独立行政法人科学技術振興機構
雑誌名	第13回情報メディア学会研究大会発表資料
発行年	2014-06
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2241/00121824">http://hdl.handle.net/2241/00121824</a>



# 心理学分野におけるオープンアクセスの進展

## — 『筑波大学心理学研究』 掲載論文の引用調査から —

筑波大学 情報学群  
知識情報・図書館学類

大原 司

同志社大学 社会学部  
教育文化学科

佐藤 翔

筑波大学  
図書館情報メディア系

逸村 裕

### 研究目的

国内心理学分野におけるオープンアクセス(OA)の進展状況を明らかにする。

### 研究背景

国内の論文がどの程度OAとなっているかについて明らかにした研究はほとんどない。

本研究では、OAの認知、利用経験について調査が行われている、国内の心理学分野を対象として、論文の公開状態調査を行う。

### まとめ

最近引用された論文ほど、2013年、引用時にOAであるものの割合が高くなっている傾向が見られる

→ 国内的に論文のOA化がされている

→ 国内心理学分野におけるOAは進展している

制限付きOA、有料全文がほとんどない

→ OAでない論文が電子化されていない

### 調査対象

2006年以降発行の『筑波大学心理学研究』に掲載された論文(158本)から引用された、和雑誌もしくは日本語の論文1,109本

### 調査方法

Googleを用いたWeb検索

全文が閲覧可能である論文のOAの実現手段と公開日を記録

#### Google検索

検索語：タイトルと著者名  
検索結果上位20件を調査  
調査期間：2014年12月1日  
～同月16日

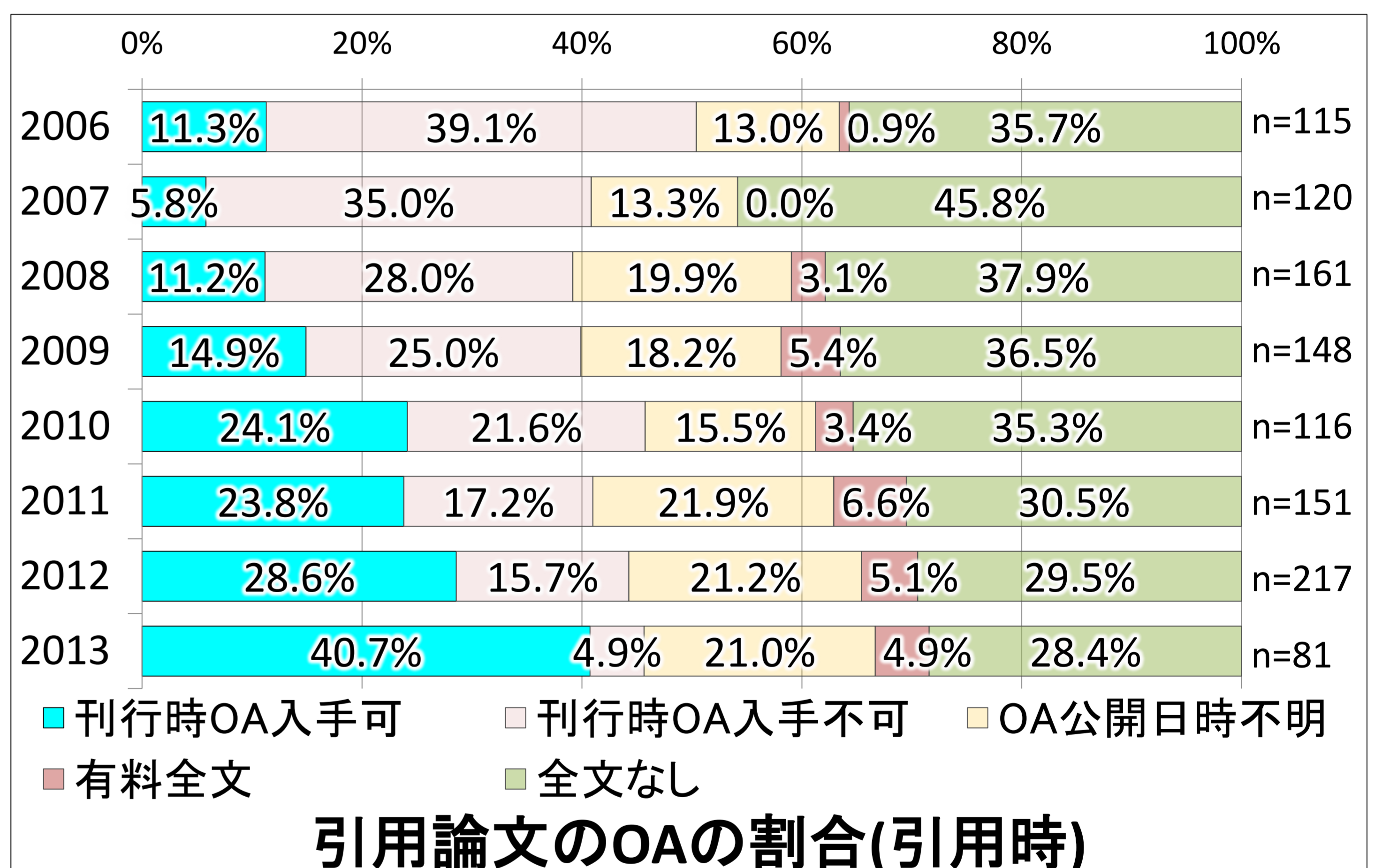


Google検索のイメージ

### 調査結果

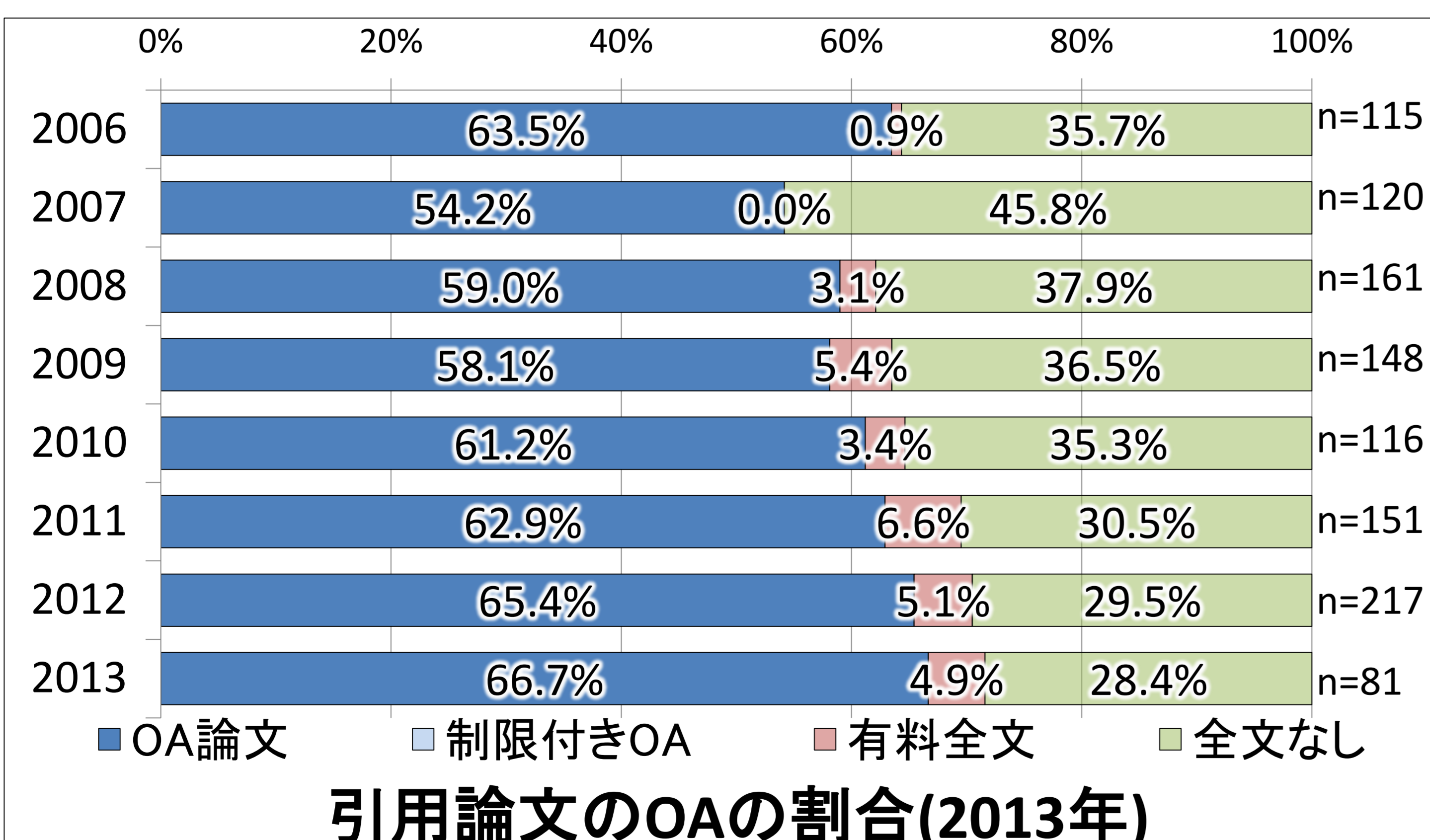
引用時の公開状態でOA論文をさらに区別

OA公開日が各号刊行日以前 → 刊行時OA入手可  
OA公開日が各号刊行日以降 → 刊行時OA入手不可  
OA公開日が不明 → OA公開日時不明



### 調査結果

縦軸は論文の引用年(引用元の論文の出版年)



→ 最近引用された論文ほど、2013年にOAであるものの割合が高くなっている傾向が見られる

→ 制限付きOA、有料全文がほとんどない

→ 最近引用された論文ほど、引用時にOAで入手可能なものの割合が高くなっている傾向が見られる

OA入手不可の論文が2013年にはOAで入手可能に  
→ 国内的に論文のOA化がされている

#### OAの実現手段

実現手段	件数(本)	割合(%)
OA雑誌	559	82.1%
機関リポジトリ等	245	36.0%
個人のウェブサイト	18	2.6%
分野別アーカイブ等	6	0.9%
購読誌でOA論文を掲載	1	0.1%
無料論文提供サイト	0	0.0%
その他	6	0.9%

→ OAの実現手段は、主にOA雑誌